

目 次

2012年度事業関係

1. 事業内容報告

【1】地域活動／高齢者・障害者・子どもの生活を支援する事業	9
【2】コーディネート事業・相談活動・ ボランティア支援・当事者支援活動	18
【3】教育・啓発活動	22
【4】コミュニティ・メディアにかかる活動	23
【5】国際的な草の根の交流を行う事業	23
【6】リサイクルバザー事業	24
2. 組織と運営	24

2013年度事業計画案

2012年度決算報告および2013年度予算

会員関係

* 2013年度役員名簿	
* 2013年度ボランティアグループ運営委員名簿	
*会員名簿	

寝屋川市民たすけあいの会 会則

特定非営利活動法人

寝屋川市民たすけあいの会 定款

寝屋川市民たすけあいの会のあゆみ

寝屋川市民たすけあいの会

2012年度事業内容報告

寝屋川市民たすけあいの会は、1978年5月に設立以来、市民の手により主体的につくりられた寝屋川ボランティア・ビューローを拠点として、様々な地域活動を行ってきた。

2012年度に実施した当会の事業活動概況は次のとおりである。

2012年度は、組織の再構成を行っての2年目になった。組織再構成を指向し、計画を立ててはみたものの、なかなかうまく出来ていないことも多く、課題の残る一年であった。障害者自立支援法の改正、社会情勢の変化などによってか、よせられる相談内容にも少しずつ変化も感じられるようになり、より活動の原点回帰化が求められるようになってきている。

そういう中、昨年度から進めているボランティア活動およびその推進活動、市民活動的な活動およびその推進活動を時代にあわせて行っていけるような組織づくりと、福祉事業、特に障害者福祉事業をしっかりとしたものにしていく組織、事業形態にしていくことを組織の目標とできるように試行錯誤しながら、取り組みを続けている。

また、昨年の8月14日の集中豪雨により、寝屋川市民たすけあいの会の敷地全体が浸水し、すべての建屋で50cm程度が水につかり、甚大な被害がでた。全国のみなさんから復旧にあたり多くの寄付をいただき、復旧を行うことができた。

本年度事業報告の概要

〈全体的概要〉

2012年度の組織全体として計画の柱は次の3点であった。

1. 組織的整備－参加型の組織の再構築と管理部門の強化－

昨年度大きく取組みをはじめた組織再編整備を見直しながら、強化していく。

また、組織全体が大きくなるに従って無理がでている管理部門について強化の方向で検討する。

- ① 理事会／理事総会／会員総会／常任委員会／各セクションのMT
- ② 管理部門の強化（税務、総務など）について

③ 参加できる仕組みのための市民活動やボランティア活動を進めるこ とのできるための事務局機能の強化

2012年度の状況としては、方向性の確認と事務管理部門の強化を試行し、年度またぎになっているが、事務管理部門の人員も増やしていく方針で進んでいる。また、2012年度は「3. 福祉事業拡大プロジェクト」によって、スタッフが増え、それにともなっての組織的な見直しの必然性のスピードがあがっているが、残念ながらそのスピードについていけずおらず、特に会議の持ち方や組織体系、ミッションの共有、日々の支援の中での共通化など、でてきた課題にその都度取り組んでいる現状である。

2. つながりとネットワークづくり

私たちはこれまで、「つなぐ」ことをミッションに、さまざまなネットワークに参画してきた。また、その中で、一定以上の役割を果たす必要にも迫られている。一見すると、自らの団体の活動を大きくしていくことと、「つなぐ」ことは矛盾するように見えるが、これまでのネットワークを大切にし、関係団体との協力の中で、(福祉の)まちづくりにつながることは積極的に参画していきたい。

2012年度での状況としては、これまでの流れを踏襲しつつ、さまざまな団体とのつながりをボランティア、市民活動、事業部門で拡大している。

3. 事業の次のステージをめざして－福祉事業拡大プロジェクト

寝屋川市民たすけあいの会が約10年前から制度内の事業に取り組みはじめたのは、時代が変わったことと同時に、長くかかわらせていただいている方からのニーズに基づいてだった。いま、またいろいろなニーズがでている中で次の事業拡大にむけて動き始めた。

暮らし支援プロジェクト・・体験宿泊、一人暮らし支援システムの実施検討

日中活動・・ばちばちはうすの新体系移行の中で、単に生活介護への移行を行うのではなく、ニーズと地域事情に応じた日中活動のあり方を考える

2012年度の状況としては、日中活動の再編については、府に相談したと

ころ、府としては工場の改装にて生活介護を行うことは好ましくないと考えているといわれ、話が進まなくなっている。そのまま、地域活動支援センターⅡ型のままになっている現状を次年度どう考えていくのかという状況である。

また、くらし支援については、今年度、マンションの1室を借り、2人暮らしをしていただくような形の取組み（シェアハウス）をはじめた。これまでの「すだち」での体験宿泊を進めて、暮らすことの支援が本格的にはじまりはじめた。また、関係者からの不動産の安価な買い取りの要望があり、「くらし支援のため」にという趣旨での多額の寄付を活用し購入した。次年度その活用方法について具体的に検討していくことになる。

4. 相談支援の多様化からそもそもたすけあいの会が取り組んでいた活動へ

ここ数年、居住サポート事業なども行っていたが、そもそも制度のすきまになっている状況の相談や、制度は使えるが「つなぎ」的に必要な物品や資金の提供がないと生活が立ちゆかないという状況も生まれてきている。関係機関でもそのような取組みが行われているが、貧困化の状況を間のあたりにすること、制度の限界を感じることが本当に増えている。相談支援といいつつ、結局は、以前、ボランティア活動として取り組んでいたことと内容としてはさしてかわらない状況になっている。

家財道具をストックして、貸し出しをしたり、一時的な資金の立て替え、また食糧や衣類の提供など、リサイクルという精神（スピリット）を表に打ち出しながらも、その実は、貧困者対策の体をなしてきている。より寄付をもとめる活動が必要になってきている。

以下は「たすけあいの会」が2012年度に行った事業の内容である。

事業内容

【1】事業活動

【1】地域活動／高齢者・障害者・子どもの生活を支援する事業

A ボランタリー活動

(1) 在宅ボランティア派遣活動・・・活動なし。依頼はあるがボランティア・コーディネートを休んでいることと、ボランティアがいないので、お断りしている。支援センターのケースとして、在宅ボランティア活動と類似した活動を行っている。

(2) 交流活動・サロン活動・つどい活動

① 外出交流会

1984年度より、在宅の寝たきり老人・障害者・難病患者等とその家族、およびボランティアの交流の場づくりを企画し、年に2度ほど外出している。

2012年度は5月12日に万博公園へ日本庭園に外出。12名が参加。

② たすけあいサロン（ミニデイサービス）

たすけあいの会では2000年度6月より、月に1度（第1土曜日）にめぐみデイサービスセンターをお借りして、ミニデイサービス（たすけあいサロン）を開催しはじめた。2001年度8月より場所を「ぼちぼちはうす」に変更し、続けている。毎回6～11名程度の比較的年齢の高い方、中途障害、難病の方が集まっておしゃべりに花をさかせている。

4月	7日（土）	6名
6月	2日（土）	7名
7月	7日（土）	7名
8月	4日（土）	7名
9月	8日（土）	9名
10月	13日（土）	8名
11月	3日（土）	5名
12月	1日（土）	6名
1月	12日（土）	8名
1月	27日（日）	15名
3月	2日（土）	6名

新年会

総計 のべ84名

③ 寝屋川さくらんぼの会ミニデイサービス

1998年に寝屋川市で開催した失語症ライブの同窓会を元に、言語障害、失語症を持つ人たちの会「寝屋川さくらんぼの会」が結成された。2001年11月からは、めぐみデイサービスセンターにて言語聴覚士の方の協力を得、月に1度（第3土曜日）にミニデイサービスを行っている。現在は、場所を保健福祉センターに変え、言語聴覚士の専門学校生（大阪医専）のボランティアの協力を得ながら活動を行っている。現在の登録メンバーは4名。ここ4年ほどはメンバーの入れ替わりが激しくなり、メンバーが減少している。

4月21日(土)	参加者2名	家族名	ボランティア	5名
5月19日(土)	参加者2名	家族名	ボランティア	3名
6月16日(土)	参加者0名	未実施		
7月20日(土)	ゲリラ豪雨の為、中止。			
8月18日(土)	参加者2名	家族名	ボランティア	5名
9月15日(土)	参加者2名	家族名	ボランティア	5名
10月20日(土)	参加者2名	家族名	ボランティア	4名
11月17日(土)	参加者1名	家族名	ボランティア	7名
12月15日(土)	参加者2名	家族名	ボランティア	6名
1月19日(土)	参加者3名	家族名	ボランティア	6名
2月16日(土)	参加者3名	家族名	ボランティア	7名
3月16日(土)	参加者2名	家族名	ボランティア	5名
総計	のべ参加者21名	家族0名	ボランティア	43名

④ maru◎kuru（まるくる）

古くからの会員さん、ボランティアさんというよりは、近年新しく出会った方（そるどみ、事務局ボラなど）に声をかけ、すだちを使って交流する。12年度は年間4回開催した。

4月 8日(日) 花見&サイクリング	参加者4名
9月16日(日) 食事会	参加者4名
12月 9日(日) きりたんぽ鍋会	参加者3名
2月10日(日) ロールケーキ作り&お茶会	参加者5名

⑤ 餅つき大会

寝屋川市精神障害者地域交流事業「Club E&T」と、えるちゃん、ふたば（生活介護事業所）と当会で実行委員会を開催（会議回数8回）。餅つきの他、お菓子や珈琲、たわし作りの体験コーナーなどを設け、交

流イベントを行う。

- 日程：12月8日（土）
- 場所：たすけあいの会駐車場
- 参加人数：76人（当事者：56人、ボランティア・実行委員：20人）

(3) 福祉施設などへの訪問ボランティア活動

① 特別養護老人ホーム寝屋川十字の園

1978年より毎月1回（第3火曜日）、市内の特別養護老人ホームを訪問し、清掃、縫製、お年寄りの話し相手・代筆等の活動を行っている。参加ボランティア3～6名。活動内容は古着の裁断やガーゼ折りなど。

	日 時	活 動 内 容	参 加 数
1	4/17	10時～12時 古着の裁断。	4名
2	5/15	10時～12時 ガーゼ（大）折。古着の裁断	6名
3	6/19	10時～12時 古着の裁断。	7名
4	7/17	10時～12時 古着の裁断。	4名
5	9/18	10時～12時 古着の裁断。	5名
6	10/16	10時～12時 ガーゼ（大・小）折。雑巾の製作	4名
7	11/20	10時～12時 ガーゼ（大）折。古着の裁断。足ふきマット	5名
8	12/18	10時～12時 水のう製作。古着の裁断。	3名
9	1/15	10時～12時 ガーゼ（中）折。足ふきマット製作	3名
10	2/19	10時～12時 ガーゼ（大・中・小）折。古着の裁断	5名
11	3/19	10時～12時 ガーゼ（大）折。水のう製作。お風呂用タオル	5名

② ケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」

1994年3月より市内のケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」への訪問を開始し、施設の清掃、デイサービスの補助、散歩、買い物の介助などを行っている。主に、木曜日は施設内の清掃、金曜日はデイサービスの補助を行っている。年々、活動は停滞していたが昨年度より、数年前に活動をしていただいていた方が活動を再開していただき、活動自体が再開した。

2012年度は週1回程度計36回、ボランティアのべ36名が訪問活動をさせていただいた。

③ デイサービスセンター輝きのまち（ケアハウス池田）

1996年度の10月より市内のケアハウス「輝きのまち ケアハウス池田」併設のデイサービスセンターへの訪問を開始し、週1回木曜日に特別浴の

着脱のお手伝いを行っている。また、1997年度10月より月曜日にもデイサービスのお手伝いを行っている。今年度の活動はなし。

④ 神経系難病者交流会「ひまわり会」への協力

もともと月に1回開かれる大阪府寝屋川保健所主催で開かれていた「ひまわり会」。昨年度から、保健所事業ではなく、自主的な事業となっている。その「ひまわり会」引き続きボランティアとしてお手伝いさせていただいている。

(4) 子どもの遊びの活動

① そるどみ (SOL DE DOMINGO) の開催

障害のある子もない子も、地域の小学生とボランティアが一緒に遊ぶ活動。2012年度の登録メンバーは5名。毎月第1日曜日に「すだち」を拠点に活動を行っている。毎回、学生や社会人がボランティアとして参加している。

4月	1日 (日)	メンバー 3名	ボランティア 5名
5月	6日 (日)	メンバー 5名 (見学体験 1名)	
			ボランティア 9名
6月	3日 (日)	メンバー 4名	ボランティア 5名
7月	1日 (日)	メンバー 5名	ボランティア 7名
8月	4日 (土)	メンバー 5名	ボランティア 5名
	5日 (日)	メンバー 5名	ボランティア 8名
9月	2日 (日)	メンバー 5名	ボランティア 8名
10月	7日 (日)	メンバー 4名	ボランティア 5名
11月	4日 (日)	メンバー 4名	ボランティア 7名
12月	2日 (日)	メンバー 5名	ボランティア 7名
1月	6日 (日)	メンバー 3名	ボランティア 7名
2月	3日 (日)	メンバー 5名	ボランティア 6名
3月	3日 (日)	メンバー 6名	ボランティア 14名
		総計	ボランティア のべ 93名

★「そるどみ同窓会」を開催 (寝屋川市立保健福祉センター多目的ホール)

9月23日 (日) メンバー 7名 ボランティア 12名

★研修：外部理事の川口裕之さんに来ていただき、ワークショップを開催

11月14日 (水)、11月23日 (金・祝)



【そるどみ】

② あそび市の開催・・・2月17日（日）

市内在住の小学生と保護者を対象に、市立保健福祉センター多目的ホールにて単発の遊びのプログラムを行った。そるどみの活動紹介展示も同時に開催した。

③ こもます（¿Como mas?）の開催

そるどみを卒業した中学生対象のプログラムとして一昨年度開催したが、2012年度は実施せず。

④ びっくりおもちゃ箱の開催

ボランティアと地域の子どもの遊びのプログラム。一昨年度は夏休み期間に一度開催したが、2012年度は実施せず。

(5) 社会的ひきこもり社会参加支援

① 06, 07年度、府が行っていた社会的ひきこもり社会参加支援グループ事業を実施していた。このモデル事業は府内2カ所で行われ、そのうちの1カ所を委託をうけ実施した。一年半で社会的ひきこもりネットワーク会議からの推薦で7名の方の支援を行った。モデル事業は、2007年度で終了。その後も活動を続けている。

- ・サロン活動 毎月1回程度。以前、事務局の活動に参加していただいている方の中にはほかのプログラムに参加していただいている方もおられる。

② 昨年度より、寝屋川保健所主催で社会的ひきこもり者ネットワーク会議が開催されており、それに参加している。

B 障害者自立支援法に基づく事業

(1) 社会参加活動センター「ぼちぼちはうす」

障害のある方の豊かな日中活動を行っていただく場として、「ぼちぼちはうす」を2000年10月より開設した。2003年度からは、寝屋川市の基準該当の身体障害者デイサービスとして知的障害の方の相互利用を含めて、運用することになった。

その後、2006年度、障害者自立支援法により存続の危機に直面。2006年3月19日の毎日放送「映像06」でぼちぼちはうすが取材・放送された。放送後、117人の方から288万2100円の寄付をいただき、ぼちぼちはうすの横を新たに借りあげ改装し、「ぼちぼちはうす新館」を開設。障害者自立支援法制度施行後は、2006年度上半期は「障害者デイサービス」として、下半期は「経過的デイサービス」と「重度障害者等包括支援事業の一部」として運営をした。

2007年度より、市の委託事業として旧障害者デイサービスの移行種別である「地域活動支援センターII型（定員15名）」と「重度障害者等包括支援事業の一部」として運営している。

利用時間は9：50～16：10である。重度障害者等包括支援事業の対象の方が6名。地域活動支援センターII型の登録の方が20名（うち、「ゆろ・りろ」9名、「風ride（プライド）」2名、パラデロ2名、その他3名含）となっている。もともと利用されていた重症心身障害の方、全身性障害の方、知的障害の方に加えて、高次脳機能障害や精神障害の方が増えている。

見学・来訪者は383名、ボランティアはのべ117名であった。

ぼちぼちはうす利用者の障害程度区分について（ゆとりろ除く）

計	6（重度包括）	6	5	4	3	2	1	未判定
17人	6人	6人	1人	1人	1人			2人
	35.3%	35.3%	0.06%	0.06%	0.06%			11.7%

区分6 = 70.6%



【ぼちぼちはうす】

② 「ゆと・りろ」(精神障害者ユニット)

精神に障害をもたれた方の日中活動の場として、食事作りや、仲間と集う活動を中心としたプログラム。食事作りでは、メンバー間で献立を考え、買い出しをし、調理等も役割分担している。仲間やボランティアも交えた空間で共に過ごし、一人一人が役割と、自分らしいスタイルが持てる場を目的としている。12年度の登録者数9名。

2012年度は、プログラムでの、のべ利用者は1,145人。メンバーのべ1,107人。ボランティア・見学者は、のべ38人だった。

<プログラム内容>

ランチ王：献立から買い出し、調理。作ったご飯を食べるプログラム。

キャッチコピーは、「一人ひとりがオーナー兼シェフ」。

ランチ皇子：簡単調理で美味しく、楽しく食べるプログラムです。

徒徒の会：ウォーキングを中心とした、体にあまり負担かけずに運動をするプログラムです。

ヨガロマ：女性限定のプログラム。アロマ体験や、ヨガ等のストレッチを行います。

情報 PPP：パソコンについてみんなで勉強する場。ブログを使って情報発信もしています。「ゆと・りろブログ」

<http://utoriro.cocolog-nifty.com/>

あまみ党の会：お話をしたり、パソコンや本を見たりと自由に過ごすこと

ができます。

ある日曜日の昼下がり：12時カフェロビーがopen。珈琲をのみながらゆっくりと過ごし、13時半から映画鑑賞会。映像を楽しみ、観終わった後は、参加者同士で感想を語ります。

＜週間プログラム＞

開催曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日 (月2回)	日曜日 (月1最終週)
AM	ランチ王	ランチ 皇子		ランチ王	ランチ王	ランチ王	ある日曜日 の昼下がり
PM	情報 PPP	徒徒の会		ヨガロマ	あまみ 党の会	カフェ	

③ 風ride（プライド）

自立生活支援センターづくりをめざして活動をしている。メンバーは2名。2012年度は、メンバーが体調を崩したこともあり、第3日曜日に「語ろう会」を主な活動とした。また、新しいメンバーあつめをかね、月に1度DVD上映会を開催している。

④ パラデロ

高次脳機能障害の方を主に対象としたプログラム。リハビリ的な要素を取り入れ、紙すきや古切手を使った画づくり、園芸などの作業、あとは個別プログラムとして、音楽プログラムやパソコンなどをおこなっている。

(2) ヘルパーステーション「ほっと」

① 障害者居宅介護事業

2002年度より、精神障害者の居宅介護等事業を始めた。2003年度より、身体障害、知的障害児者の制度が支援費制度になり、身体障害、知的障害児者のホームヘルプ（身体介護・家事援助）の事業も開始した。

2006年度に障害者自立支援法による改正があり、現在は、居宅介護（身体、知的、精神、障害児）、重度訪問介護（全身性障害）、行動援護（知的、精神）、重度障害者等包括支援事業と、市の委託により移動支援事業を行っている。

障害者自立支援法の改正に伴い、10月より同行援護が新設されたが、当会では同行援護は実施していない。

2012年度在宅サービス実績（上段／下段は2011年度）

	利用者数	回 数	時 間
居 宅 介 護	5人 (6人)	678回 (757回)	2496時間 (1694時間)
重 度 訪 問 介 護	6人 (7人)	574回 (434回)	4549時間 (3886時間)
行 動 援 護	5人 (5人)	417回 (415回)	1874時間 (1966時間)
移 動 支 援	17人 (22人)	193回 (273回)	1306時間 (1700時間)
重度障害者等包括支援事業	7人 (6人)		15782時間 (13223時間)

※ 法人事業の「ヘルパーステーションほっと」と「ばちばちはうす」の苦情解決第三者委員については、追手門学院大学教員の古川隆司さんにお願いしている。

C 介護保険法に基づく事業

実績なし。休止中。

D 移送サービス事業

11年前、市内の住民参加型在宅福祉サービスを手がけていた団体が解散することになり、その団体が日本財団から、もらいうけていたリフト付きの軽ワゴン車を譲渡されることになった。以前より、病院などへの車での移送、送迎は在宅ケースとして対応していたが、車の譲渡を機に、リフト付き軽ワゴンの貸出およびこの車を利用した移送ボランティアによる移送を行っていた。

現在は、国のNPO等による移送サービスの制度化が進んだことにともない、2005年度、半ばに運営協議会の結成後、NPO法人有償移送（いわゆる道路交通法80条適用移送）の申請を行った。しかしながら、積極的に事業を行う姿勢はとっていない。

情報などの収集のために関西STSに参加している。

E くらし支援事業

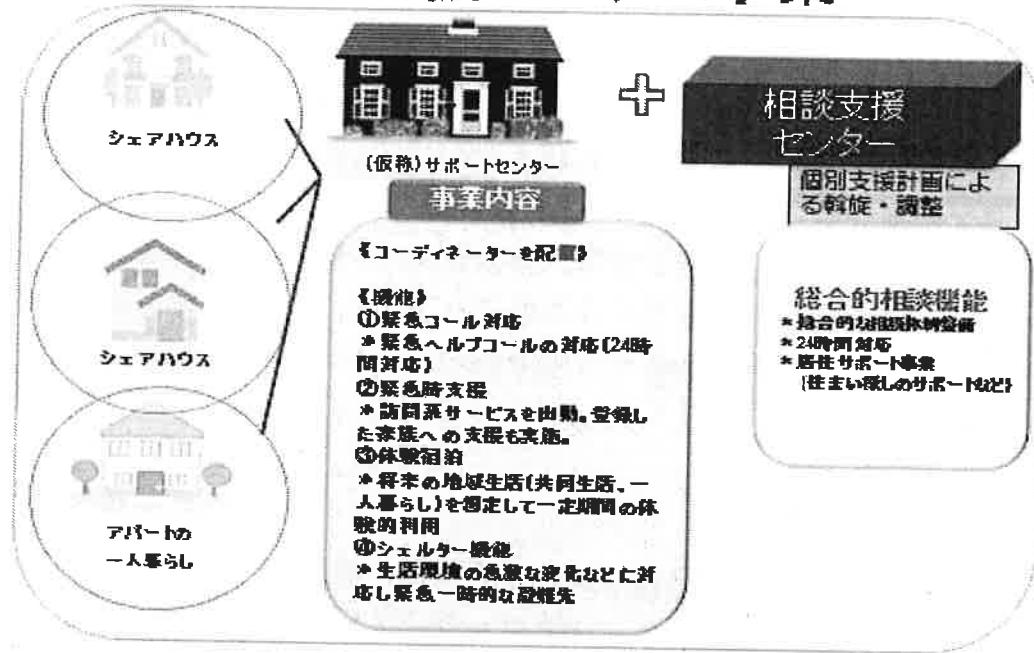
2010年度、市からの居住サポート立ち上げ支援事業と社会福祉振興助成事業、そして、重度障害者等包括支援事業を活用し、「障害のある方の暮らし

を支える」取組みをはじめた。

昨年度は、取組みを整理し、すだちを仮の「(仮称) サポートセンター」として位置づけ、地域の中で暮らしていかれる生活のサポートを行う取組みを考え、実践をはじめた。今年度は、1カ所、「シェアハウス」=2人暮らし用のマンションを当会で賃貸し、契約し、住んでいただくことをはじめた。

また、障害者自立支援法が改正され、地域定着支援という地域で生活を行うことの支援ができる制度ができたこともあり、相談支援センターとしてもひとりぐらし支援やシェアハウスの支援を行っている。

くらし支援システム事業



【2】コーディネート事業・相談活動・ボランティア支援・当事者支援活動

A 障害者自立支援法に基づく相談活動

(1) 寝屋川市障害者相談支援事業の委託運営

2002年度より、寝屋川市より市町村障害者生活支援事業の委託をうけ、寝屋川市民たすけあいの会地域生活支援センターを運営している。制度の改正に伴い、大阪府の指定相談支援事業所となり、また、寝屋川市の委託相談支援事業所になり、今年度から委託事業の委託内容と事業内容もかわり、委託+基幹相談支援センター機能強化事業という形になった。当センターにもちこまれる相談はとにかく、多問題、支援困難ケースが関係機関から持ち込まれることが多く、訪問対応をすることが多い。

総合相談件数／連絡調整件数 1089件 (うち訪問回数 649 回)
(今年度から制度変更に伴いサービス利用計画策定にかかる支援は除く)

難病者ピアカウンセリング・・・毎日+出張相談日 第3水曜日
視覚障害者ピアカウンセリング・・・毎月第4土曜日
市から依頼され、
聴覚障害者ピアカウンセリング・・・聴覚言語部会の取り組みに補助して
いる

(2) **基幹相談支援センター機能強化事業の受託運営（自立支援協議会の運営への協力部分）**

相談支援機能強化事業の委託を受け、主に、ネットワーク推進員として、寝屋川市障害者地域自立支援協議会の運営に参画している。

【全体会】

自立支援協議会事務局会議（月1回）、

【部会・ワーキング】

就業・生活支援センター実務担当者会議（月1回）、

相談支援ネットワーク会議（月1回）、

精神障害者部会ワーキング（月1回）、

地域活動支援部会（月1回）、

【サブ・ワーキング】

就労移行事業所連絡会議、

精神障害者部会地域移行定着B、

障害児サービス事業所連絡会、

(3) **障害者自立支援法にかかる障害程度区分審査会への審査員としての派遣**

障害者自立支援法の介護給付のサービスを受けるにあたり、認定審査をうける必要がある。二次審査として審査会が設置され、その審査員としてスタッフを派遣している。

(4) **サービス利用計画策定事業**

今年度から制度が変わり、むこう3年のうちに、すべての障害福祉サービスを利用されている方に、サービス利用計画の策定を行うことになっている。当センターは、引き続き、指定特定相談支援事業所として、今年度中には、21名の方のサービス利用計画の策定を行っている。一人暮らしの方、高齢の要介護の親御さんと同居の方、退院支援を行った方である。

(5) 居住サポート事業の受託運営

昨年度、障害があるため一般の住宅への入居やそれに伴う手続き、住宅探しなどに支援が必要な方への支援を行う事業の受託運営を行った。今年度からは、相談支援事業の中で行うことになったが、5件程度、家探し引っ越しのサポートなどを行っている。

また、一昨年度の社会福祉振興助成金によって、行った研究事業により、ホームレス状態から家を確保したとき、家族から分離独立したとき、また施設からひとり暮らしになったときなどに、家財道具が一式なく、何もない中で生活をはじめなければならないということが起こることがわかってきていて、会員のみなさんや関係者から寄贈いただいた家財道具（冷蔵庫、洗濯機、炊飯器、電気ポットなど）をストックし、必要に応じて、差し上げたり、一時的に貸し出したりをしている。また、生活保護を受ける前の敷金の一時的な立て替えも行っている。

こういった取組みを行っている中で、今年度はさらに、貧困であったり、ひきこもり状態で食料を手に入れる術のない方の支援を行うなど、貧困化の課題に直面し、その支援を行っている。

B 地域ネットワーク活動

(1) 関係機関会議への出席

① 地域自立支援協議会精神障害者部会への参加

- 自立支援協議会精神障害者部会親会議(2/20 開催)
- 理解促進・啓発サブワーキングへの参加
- 地域移行定着 B サブワーキングへの参加

② 社会的ひきこもりネットワーク会議へ参加

③ 高齢介護室のよびかけで行われている認知症の方を地域で支えるネットワーク会議に参加。

(2) ボランティア関係の会議への出席および参画

① ボランティア連絡協議会

寝屋川ボランティアセンターの登録グループの連絡協議会へ参加。ボランティアセンター、他のグループとの相互理解・情報交換を進めた。

② 大阪ボランティア協会パートナーシップ団体への登録

(3) 精神障害者支援機関のネットワークへの参画

① 精神障害者地域交流事業「ClubE&T」への協力

大阪府が推進している、精神障害者地域交流事業を行っている「Club E&T」(旧ひなたぼっここの会)の運営への協力と各交流事業へ参加した。事務局も昨年に引き続き担当。月に1回定例で運営委員会も行われている。

● ふれあいの会（当事者が中心にイベントを企画する会議）

1) 会議 開催数：12回 参加数：93名 *内当事者 80人

2) イベント(当事者中心に企画されたイベント)

開催数：4回 参加数：37名 *内当事者 32人

3) チラシ編集会（広報活動。イベント案内やチラシの作成をする）

開催数：12回 参加数：39名 *内当事者 27人

総計回 のべ 169名 (*うち当事者数 139名)

● Club E&T 運営委員会

開催数：12回 参加数：72名 *内当事者 0人

<ClubE&T イベント>

- ・第8回就労のつどい（現在就労している、また就労を希望する方の交流の場）

日時：2012年10月20日 場所：にぎわい創造館3階第1研修室
参加数：38名 *内当事者 26名

- ・バスツアー「ミカン狩り遠足」（大阪府）

日時：2012年10月14日 場所：富田林「城山オレンジ園」
参加数：20名 *内当事者 15名

- ・餅つき大会

日時：2012年12月8日 場所：寝屋川市民たすけあいの会
参加数：76名 *内当事者 56名

- ・ふれあいの会とのコラボ遠足「奈良公園」

日時：2012年12月2日 場所：奈良公園
参加数：16名 *内当事者 14名

- ・こころの健康ピアノコンサート

日時：2013年3月3日 場所：寝屋川市立総合センター2階 講堂
来場者数：138名

- ・カラオケ大会

日時：2013年3月23日 場所：総合センター音楽室
参加数：18名 *内当事者 12名

総計回 のべ 305名 (*うち当事者数 245名)

C ボランティア活動支援事業

① ボランティア・サロンの開催

ボランティア同士の交流の機会が減っていることから、ボランティア活動報告と交流、事務局作業のお手伝い、バザーの準備などを行っている。

4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、2月、3月の第4水曜日の午後に開催した

4月、6月、8月、10月、12月、2月は、つなぐの発送作業を毎回2日間行った。

D 当事者団体支援活動

▶寝屋川難病連絡会

96年度の5月12日に、市内の難病団体および難病者のための寝屋川難病連絡会の発足総会が行われた。また月1回の運営委員会が行われている。当会はその事務局として、連絡調整、広報、会場・備品の提供などを行っている。

寝屋川難病連絡会第17回総会が11月25日(日)に行われた 8名参加

★寝屋川市障害者長期計画策定協議会への当事者委員としての参加

障害者基本法に位置付けられた寝屋川市障害者長期計画の策定協議会に推薦、参画した。

★障害者自立支援法にかかる障害程度区分審査会への審査員としての派遣

▶障がい者の自立を考える会「やじろべー」

車いす利用者の4名を中心に自分たちの自立生活を考える会として発足。障害者自立に関する考えながら、特に余暇的な活動を中心にされている。

【3】教育・啓発活動

A インプロ・パーク

インプロとは英語のインプロヴィゼーション=「即興」の略。元々は俳優のトレーニングとして開発された即興劇のプログラムで、わが国でも90年代以降、学校教育、企業研修などいろいろな分野でコミュニケーションワークショップとして応用されている。

東京からファシリテーターの方をお呼びし、2012年度は3回開催した。

5月20日(日) 参加者 10名

10月21日(日) 参加者16名(+子どもさん2名)

1月20日(日) 参加者9名

B ワークショップ等の開催

〈再掲〉

★研修：外部理事の川口裕之さんに来ていただき、ワークショップを開催

11月 14日（水）、11月 23日（金・祝）

【4】コミュニティ・メディアにかかる活動

A カフェ放送「てれれ」の上映会の開催

大阪市にある映像発信「てれれ」という団体が展開している取り組み。様々な視点で作られた、いろんなテーマの10分以内の映像作品を1時間のプログラムにして、カフェなどで隔月定期上映されている。その「てれれ」のプログラムを、スタッフやボランティアさんとともに一般にも広く呼びかけ行ってきた。映像を観ることはもちろん、そのあとはお茶を飲みながら映像の感想などを話す時間も大切にしている。「てれれ」代表の下之坊修子さんも参加して下さる。

2012年度は6回開催した。

4月 14日（土）	参加者	5名
6月 23日（土）	参加者	7名
8月 11日（土）	参加者	6名
10月 13日（土）	参加者	6名
12月 15日（土）	参加者	5名（下之坊さん）
2月 9日（土）	参加者	4名

【5】国際的な草の根の交流を行う事業

(1) マレーシアの暮らし・マレーシアの福祉

JICA（青年海外協力隊）の派遣でマレーシアに2年間行かれていた浦井加奈さんのお話しを聞く会を開催。お話しの後は在日の方にマレーシア料理を教えていただき作って食べました。

日時：2013年3月9日（土）13:30～ 場所：すだち

参加者：14名

【6】リサイクルバザー事業

A ぼちぼちバザール

毎年、7月に市内の団体に声をかけて、共同で行っているバザー。

日 に ち：7月8日(日) (主催：3団体の参加)

場 所：総合センター1階

売 上：33,715円 当日のボランティア7名

B エコフェスタ

寝屋川市主催のエコフェスタに参加。

日 に ち：11月18日(日) 場 所：打上川治水緑地

売 上：1万円 当日のボランティア：6人

【2】組織と運営

【1】会員

(1) 会員数=会費納入者

2013年3月末現在

	個人会員	団体会員
11年度までの会員	173名	12名
12年度 加入者	21名	1名
12年度 退会者	25名	8名
会員数	169名	5名
総会員数	174名	

注) 数字のカウントの仕方

→2012年度会費納入者数

→新規および復活者数

→退会および2012年未入者数

→2012年会費納入者数

(2) 会員へのサービス

1) 会誌「つなぐ」の送付 6回

2) ボランティア保険への加入(一部会員のみ、会費より)

【2】組織活動(敬称略)

(1) 定期総会

日 時 2012年5月27日(日) 10:30~12:00

場 所 ぼちぼちはうす

議 題 1) 2011年度事業報告

2) 2012年度事業計画・予算計画の審議・承認
3) グループワーク
出席者 136名（委任状提出者 115名、非会員 2名を含む）

(2) 運営委員会

毎月第1月曜日 14:00～16:00

運営委員：田中哲次郎、別所訓子、西尾美津子、森川加代、村井謙太、

守本友美

主な議事 事業の企画と調整

(3) 理 事 会

たすけあいの会の運営委員会時に開催。

1. 日 時：2011年4月4日（月）15:00～15:30 森川・富田理事・田中監事

議 題：①今年度の計画について

②新規採用職員について

2. 日 時：2012年3月5日（月）13:30～14:00 森川・村井・守本・富田

理事

議 題：①日中活動の新体系移行について

②暮らし支援について

③相談支援について

④今年の4月に法改正され、来年春には障害者総合福祉生活支援法が施行。

(4) 理事総会（社員総会）

5月23日(木) 外部理事、監事の4名とスタッフにて、法人の社員総会の位置づけで開催。

外部理事：石井祐理子（光華女子大学）

安原 佳子（桃山学院大学）

川口 裕之（NPO法キッズポケット、てづくりほいく研究会）

外部監事：玉木 幸則（メインストリーム協会）

(5) 常任委員会

今年度は開催されず

(6) 福祉事業部ミーティング

1. 日時：2012年7月3日（火）18:30～21:00 2 理事の参加

議題：①物品の管理・使用についての確認

②各ミーティングの位置づけについて

③掃除・車両管理の確認

(7) 職 員

2012年度の常勤職員。

村井謙太、富田昌吾、中務飛鳥、福井美奈子、西岡寛信、藤本祥平、
大村静香、山田久美子、大島亜弓、山野仁美、野畠大幸、原岡由緒、
中村真人、三国洋子、重村大介、有馬綾花、春日紀衣、平野夕貴、
橋本詩織、中村駿

(8) 福祉事業を考える会（仮称）

開催されず

【3】広報活動・寄付を求める活動

(1) 会誌「つなぐ」の発行 6回

* B5版、手書き、12ページ～16ページ 650部（隔月刊）

★身体障害者刊行物協会の出版として第3種郵便物として発行

(2) ホームページの公開

<http://neyagawatasukeai.org> 今年度から独自ドメインを取得した。

Twitter、Facebook の活用をはじめた

(3) イオンの行っているイエローレシートキャンペーンに参加した。

(4) リサイクル・インクカートリッジ事業に取り組んでいる。